

セキュリティ対策

組織の1位は「ランサムウェアによる被害」

て順位を決定し、IP Aのホームページで公表した。

「組織」に分け、ランキングは「個人」と「組織」に分け、

「組織」における脅威の1位は、昨年に引き続き「ランサムウェアによる被害」となった。

21年も国内の企業や病院などのランサムウェア被害が報道され、大

分野の研究者など約150人のメンバーからなる「10大脅威選考会」の審議・投票によ

りトップ10を選出し、「情報セキュリティ10大脅威2022」とし

「組織」における脅威の1位は、昨年に引き続き「ランサムウェアによる被害」となった。

21年も国内の企業や病院などのランサムウェア被害が報道され、大

分野の研究者など約150人のメンバーからなる「10大脅威選考会」の審議・投票によ

りトップ10を選出し、「情報セキュリティ10大脅威2022」とし

「組織」における脅威の1位は、昨年に引き続き「ランサムウェアによる被害」となった。

21年も国内の企業や病院などのランサムウェア被害が報道され、大

「情報セキュリティ10大脅威」を発表

「情報セキュリティ10大脅威2022」とし

「組織」における脅威の1位は、昨年に引き続き「ランサムウェアによる被害」となった。

21年も国内の企業や病院などのランサムウェア被害が報道され、大

分野の研究者など約150人のメンバーからなる「10大脅威選考会」の審議・投票によ

りトップ10を選出し、「情報セキュリティ10大脅威2022」とし

「組織」における脅威の1位は、昨年に引き続き「ランサムウェアによる被害」となった。

21年も国内の企業や病院などのランサムウェア被害が報道され、大

と同様の手法で企業や組織のネットワークに侵入したり、データを暗号化するだけでなく窃取して公開すると脅したりして、身代金を支払わざるを得ないような状況をつくり出す。標的型攻撃と同様の技術が駆使されるため、この攻撃への対策は、例えば、ウイルス

情報セキュリティ10大脅威2022 組織向けの脅威順位

順位	「組織」向けの脅威
1位	ランサムウェアによる被害
2位	標的型攻撃による機密情報の窃取
3位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃
4位	テレワークなどのニューノーマルな働き方を狙った攻撃
5位	内部不正による情報漏えい
6位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加
7位	修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロデイ攻撃)
8位	ビジネスメール詐欺による金銭被害
9位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止
10位	不注意による情報漏えいなどの被害

また、昨年8位だった「インターネット上の脆弱性対策情報が、提供された時点です

け、脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20

「個人」を合わせた20



2022はこ